



端正な佇まいの「Villa d'Este」正面ファサード。シンメトリックな美しさが映える



2階回廊から俯瞰したエントランスホール。クラシカルなステアケース階下にコンシェルジュデスクがある



ホテルの顔とも言うべき有名な庭園モザイク・ファサード。背後には山腹から流れ出るネオ・ルネッサンス様式の階段噴水も見える



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

ヴィラ デステ Villa d'Este

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

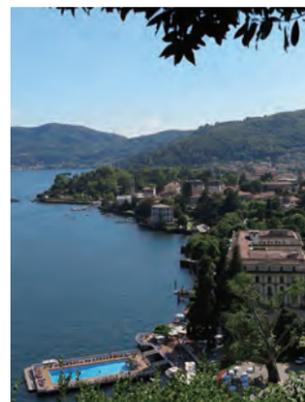
※本連載は毎月2・4週号掲載



1568年に枢機卿トロメオ・ガリオの夏の離宮として整備されたのが「Villa d'Este」の起源である。現在、建物は国の重要文化財に指定され、LHW加盟のホテルとして世界各国のセレブリティを顧客に持つ



美しいコモ湖の水面に張り出したフローティングプール



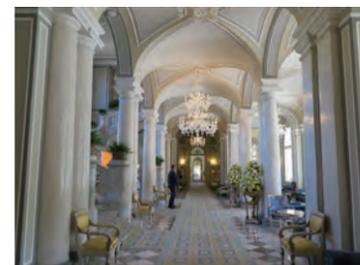
山腹に至る遊歩道から俯瞰した「Villa d'Este」の全景



メインダイニング「Veranda」は庭園のモザイク・ファサードを眺める華麗な造りだ



夏季の「Veranda」はテラス席を設けているが、ドレスコードは厳格に守られている



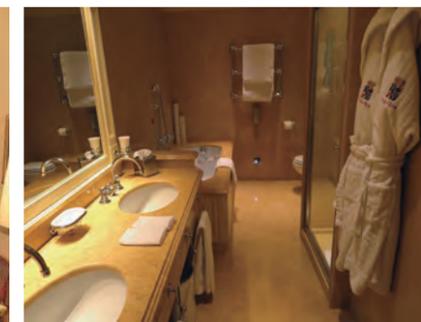
本館「Cardinal」棟の中心を貫く回廊。非の打ちどころがない品格が漂う空間だ



王妃キャロラインが自身の安楽所としてこよなく愛した「Queen's Pavilion」棟



「Double Deluxe Superior Lake View」のベッドルームからリビング方向を望む。約50㎡の広さを持つ湖に面したエレガントな客室で、王妃キャロラインの残り香さを感じられるフェミニンな雰囲気だ



「Villa d'Este」のロゴ入りバスローブが掛かったゴージャスなバスルーム。ドレープカーテンとタッセルが映えるリビングルーム

ミラノの北部、スイスの国境に近い位置にイタリアが世界に誇る避暑地のコモ湖「Lago di Como」がある。コモ湖の避暑地としての歴史はローマ時代に遡り、邸宅(ヴィラ)と呼ばれる別荘が周囲に点在する。その中でとりわけ壮麗な邸宅がヴィラ デステ「Villa d'Este」である。もともとコモ司教の命により修道院として建てられたが、1568年に枢機卿トロメオ・ガリオの夏の離宮として整備されたのがこのホテルの起源である。現在、建物は国の重要文化財に指定され、LHW加盟のホテルとして世界各国のセレブリティたちから絶大な人気を得ている。

ヴィラ デステは、コモ湖の長い歴史の中で多くの著名な人々もその足跡を残した。1815年にはイギリス国王皇太子、後の国王ジョージ四世の王妃であるキャロライン・アメリア・エリザベス「Caroline Amelia Elizabeth」の邸宅となる。国王に疎まれ「薄幸の英国王妃」と言われたキャロラインは、ここをいたく気に入り自身の安楽所としてこよなく愛した。そして、この邸宅をローマ近郊にある有名な「Villa d'Este in Tivoli」から影響され、「新エステ荘」

「Nuova Villa d'Este」と改名する。時は流れ1873年、邸宅は買収されリユクスなホテルとして生まれ変わったが、そのまま「Villa d'Este」が現在のホテル名になっている。ヴィラ デステの正門から湖畔の長いアプローチを進むと、16世紀から存在する「Cardinal」棟とイギリス王妃の別荘であった「Queen's Pavilion」棟が広大な敷地内に優雅に行んでいる。背後には山腹から流れ出るネオ・ルネッサンス様式の階段噴水とモザイク・ファサードがまるで絵葉書のように存在している。客室数はスイートを含め全152室あり、筆者にアサインされた部屋は「Double Deluxe Superior Lake View」で、約50㎡の広さを持つ湖に面したエレガントな客室だ。メインダイニング「Veranda」は庭園のモザイク・ファサードを眺める華麗な造りで、他に「Grill」、バー「Bar Canova」がある。スパ「Villa d'Este Beauty Center」は究極のリラクゼーションを提供し、湖に浮かぶ「Floating Pool」では大自然の中で泳ぎを楽しめる。

ヴィラ デステは、ホテルに改装されてからゆうに一世紀以上が経つ。コモ湖には近年、ヨーロッパの各国王室や富豪、映画スター、芸術家らによって湖畔に壮大で瀟洒な別荘が競うように建てられている。また、往年のフランス映画「舞踏会の手帳」では夢のように美しい風景とホテルが旅情を演出している。ヴィラ デステは、ゲストをそんな夢の舞台に誘ってくれる麗しきホテルと言えよう。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円(本体価格)

www.ohtapub.co.jp/worldhotel/

